

そう思いつつ目が重くなって来た

宿題を思い出し、机から二百円取り出し、ノートと原稿用紙をまた自転車に乗って観月橋を渡って、買いに行く。

夕食も取らず、ひたすら、作文構成に努める。

部屋に戻り、代数の宿題を済ませ、古文のまとめを仕上げるともう午前一時半。

そのまま、目をふたす。しかし、寝つけない。

窓から光がこぼれている。

隣りで、兄貴がまだ勉強している。電気がまだついていて。

京大、兄貴、頑張ってくれ。

どうか、合格となる事を、ただ、切望してやまない。

兄貴、頑張ってくれよな。

兄貴、合格しなくても、気を落とすなよな。

頑張ってくれ、兄貴。

そう思いつつ目が重くなって来た。